

NSG グループ

2024年3月期 第2四半期決算報告

(2023年4月1日～ 2023年9月30日)

日本板硝子株式会社
2023年11月9日

細沼 宗浩

代表執行役社長 兼 CEO

大河内 聡人

執行役常務 CFO

目次

1. 2024年3月期 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期 業績予想について
3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗
4. 次期中期経営計画の策定について
5. まとめ

1. 2024年3月期 第2四半期決算概要

連結損益計算書

前年同期比で増収増益を継続し、上期業績予想を達成。
市場金利の上昇に伴い金融費用が増加

(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)			上期業績 予想
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異	2023年 3月期	2024年 3月期	差異	
売上高	1,977	2,122	145	3,757	4,202	445	4,200
営業利益	62	115	53	144	260	116	190
営業利益率	3.1%	5.4%	+2.3pt	3.8%	6.2%	+2.4pt	4.5%
個別開示項目 (純額)	△ 473	11	483	△ 449	3	452	0
個別開示項目後営業利益	△ 411	125	536	△ 305	263	568	190
金融費用 (純額)	△ 37	△ 77	△ 39	△ 66	△ 140	△ 75	△ 130
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	-	37	37	40
持分法による投資利益	10	12	2	32	22	△ 11	20
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	5	△ 0	△ 5	△ 7	11	19	10
税引前利益 (△損失)	△ 434	61	494	△ 345	193	539	130
当期利益 (△損失)	△ 403	30	433	△ 370	105	475	90
純利益 (△損失)*	△ 412	27	439	△ 388	98	486	80
EBITDA	161	226	65	342	480	138	

建築用および自動車用で増収増益を継続

【売上高および営業利益 (事業別) : 前年同期比】

(億円)	売上高	営業利益
建築用	+108	+63
自動車用	+333	+80
高機能	△3	△17
その他	+7	△10
グループ全体	+445	+116

前年は欧州自動車用ガラス事業ののれんと無形資産の減損損失を計上

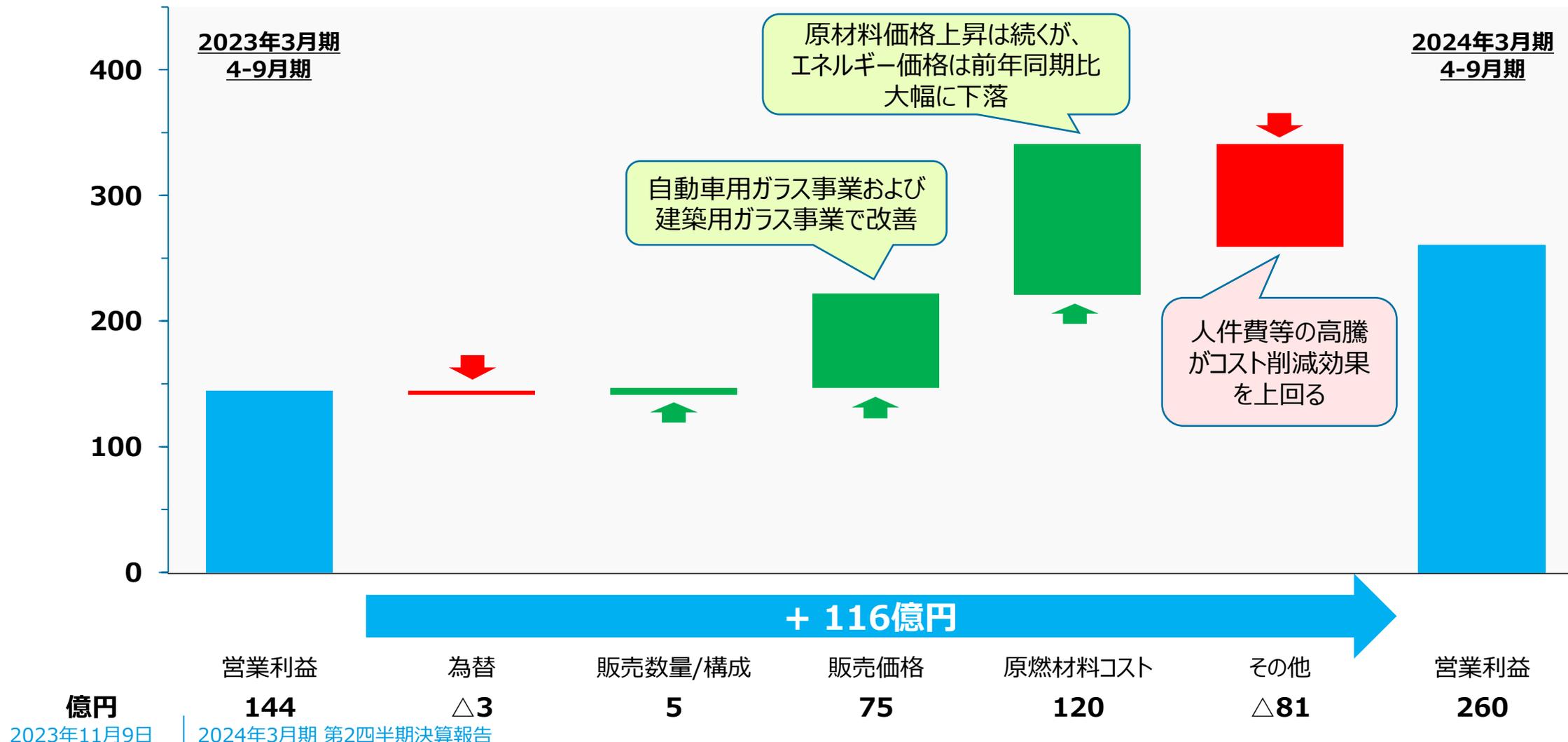
欧米の市場金利上昇に伴い金融費用が増加

第1四半期にロシアJVの売却に伴い、過去に計上した金融債権および投資に対する減損損失の戻入益を計上

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

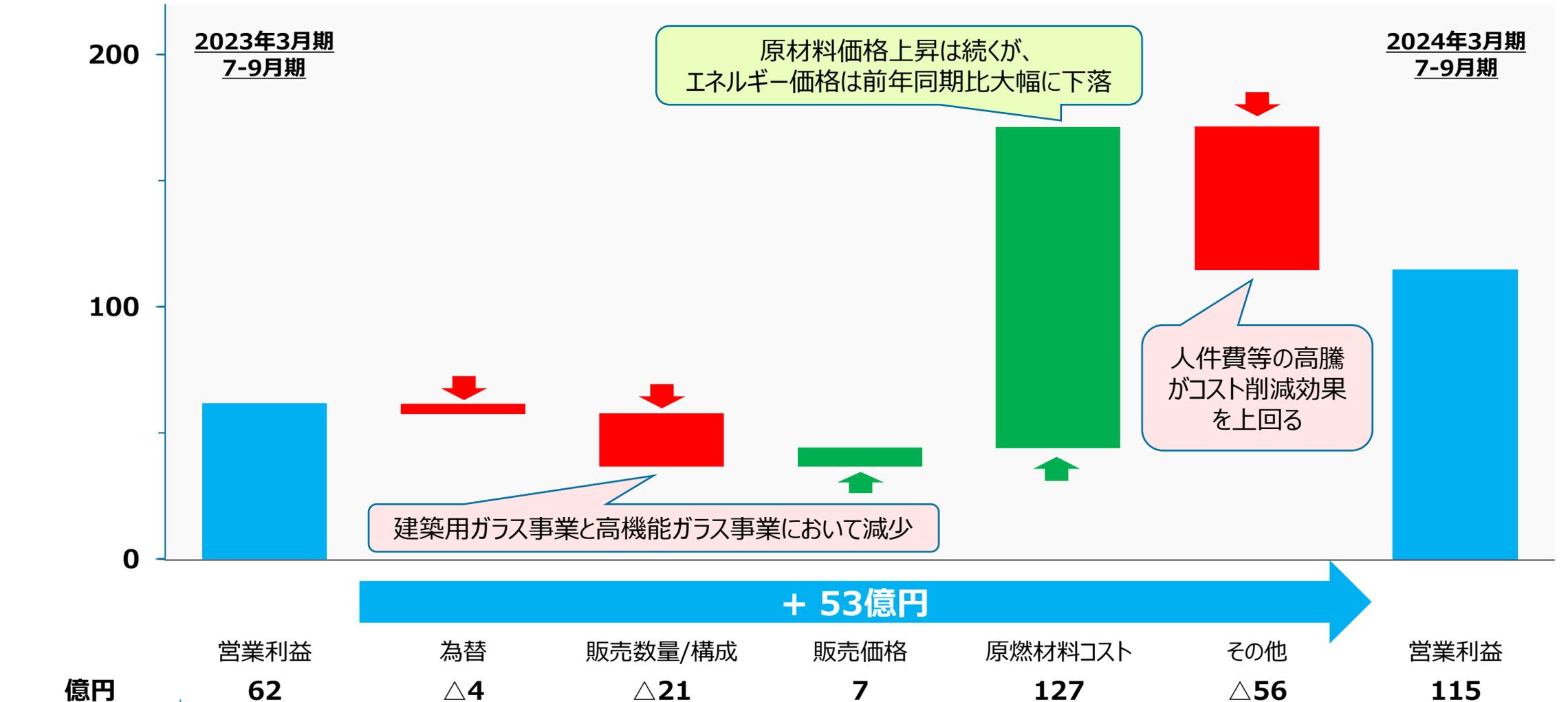
営業利益差異分析 (上期累計)

エネルギー価格は前年同期比で大幅に下落。
販売価格改善もあり原材料費およびその他コスト増加の影響を吸収



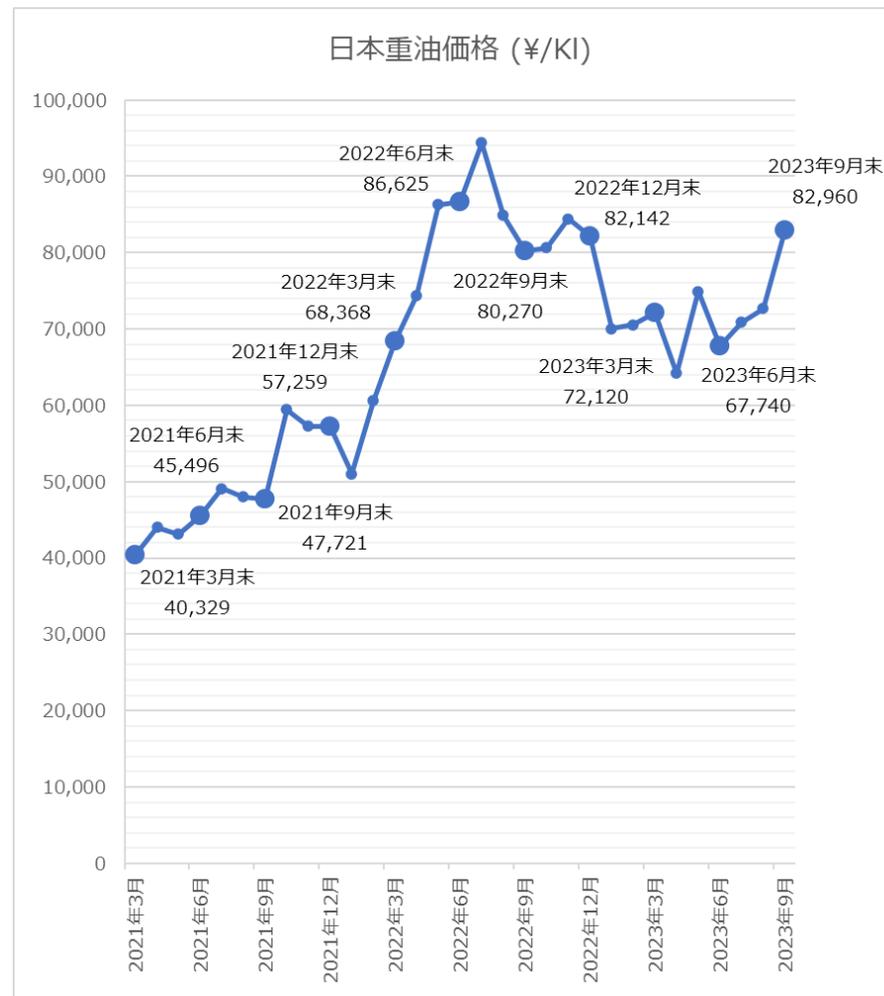
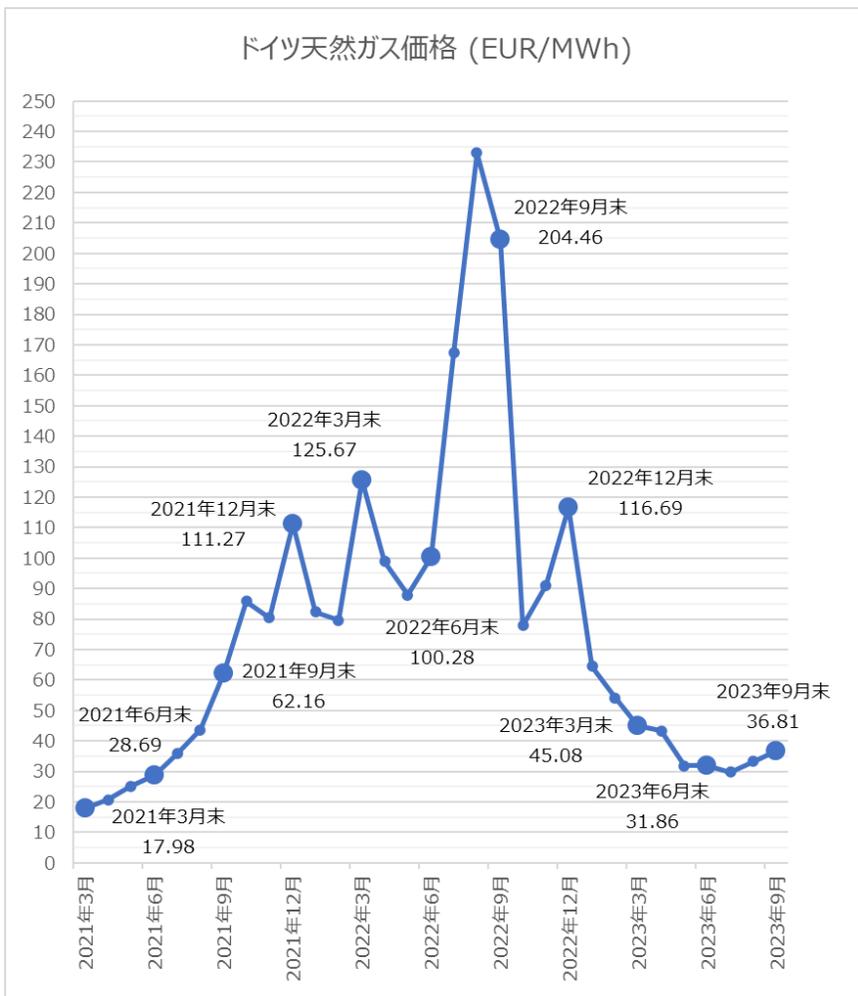
営業利益差異分析 (7-9月期)

販売数量減少とその他コスト増加の影響をエネルギー価格の前年同期比下落が軽減



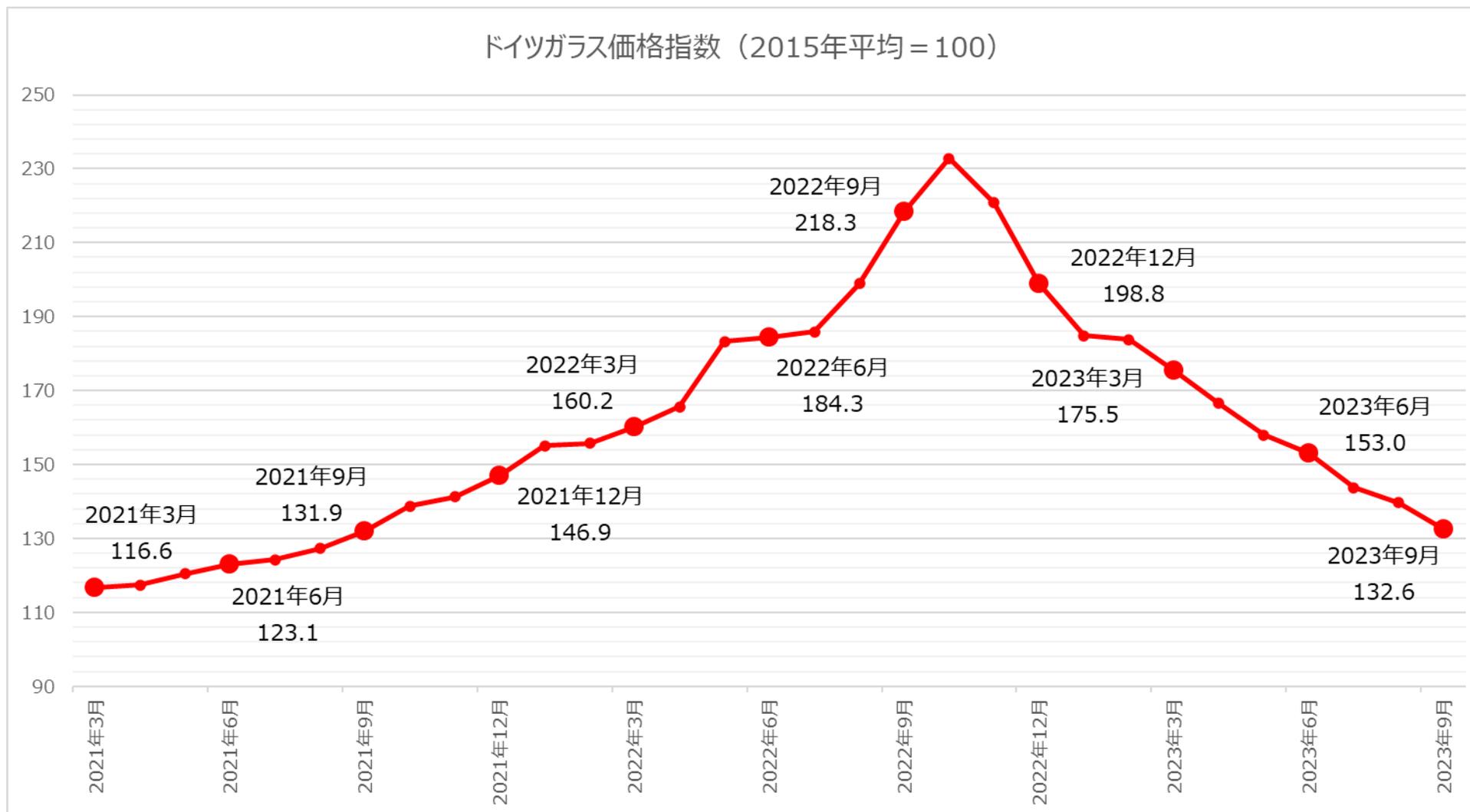
エネルギー価格の推移

ドイツの天然ガス価格：第1四半期に下落して以降、安定的に推移
日本の重油価格：第2四半期において再び上昇傾向



ガラス価格の推移

市場環境の減速に伴い、ドイツガラス価格も低下



連結貸借対照表

自己資本比率は12.6%と前期末比で2.4pt改善。
 RP24の目標数値である10%超を維持

(億円)	2023年 3月末	2023年 9月末	増減
資産合計	9,514	10,018	504
非流動資産	6,151	6,582	431
流動資産	3,363	3,437	73
負債合計	8,265	8,442	177
流動負債	3,844	3,263	△ 581
非流動負債	4,421	5,179	758
資本合計	1,249	1,576	328
親会社の所有者に帰属する持分	970	1,265	295
自己資本比率 (%)	10.2%	12.6%	+2.4pt
ネット借入	4,079	4,548	469

為替影響による有形固定資産の増加

短期借入金から長期借入金へのシフト

純利益の計上および為替影響。
自己資本比率12%超

主に運転資本の増加に伴う
フリー・キャッシュ・フローのマイナス
および円安影響により借入金が増加

連結キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュ・フローは運転資本の増加に伴いマイナスだが、7-9月期はプラス。
通期でRP24の目標数値である100億円以上を目指す

(億円)	7-9月期 (3か月)			4-9月期累計 (6か月)		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	146	209	63	114	34	△ 81
(うち、運転資本の増減)	47	71	25	△ 154	△ 313	△ 159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 113	△ 79	34	△ 209	△ 220	△ 10
(うち、有形固定資産の取得)	△ 100	△ 140	△ 40	△ 191	△ 278	△ 87
フリー・キャッシュ・フロー	34	130	97	△ 95	△ 186	△ 91
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5	△ 51	△ 45	15	1	△ 14
現金及び現金同等物の増減	28	80	51	△ 80	△ 185	△ 105
現金及び現金同等物 期末残高				552	552	△ 0

7-9月期は運転資本が改善

戦略投資の増加および為替影響

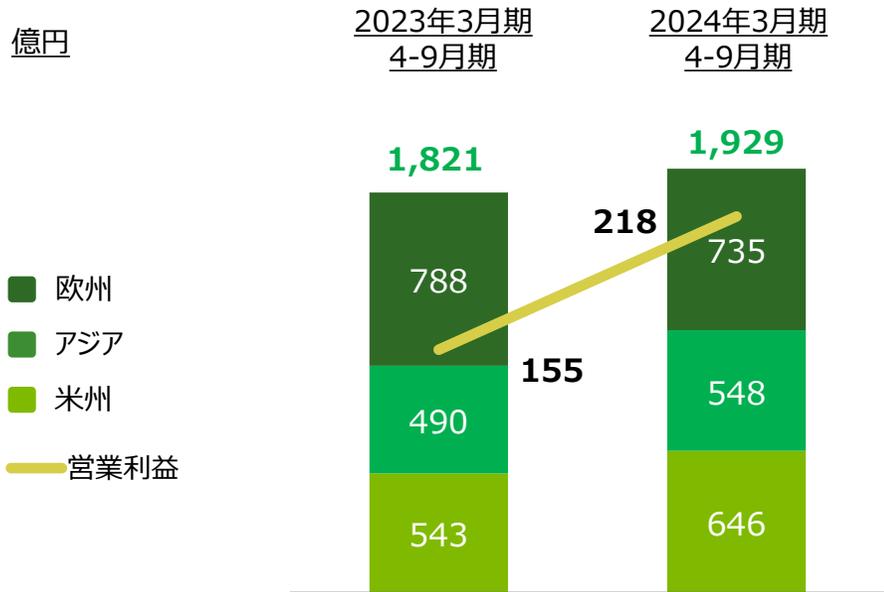
累計でも、運転資本の増加を除くとプラス。
通期でRP24の目標数値である100億円以上を目指す

セグメント情報

(億円)	2022年3月期 4-9月期			2023年3月期 4-9月期			2024年3月期 4-9月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	1,320	45%	136	1,821	48%	155	1,929	46%	218	108	63
欧州	549	19%		788	21%		735	18%		△ 53	
アジア	403	14%		490	13%		548	13%		59	
米州	369	13%		543	14%		646	15%		103	
自動車用ガラス事業	1,352	47%	△ 11	1,719	46%	△ 17	2,052	49%	63	333	80
欧州	591	20%		699	19%		838	20%		139	
アジア	280	10%		324	9%		383	9%		59	
米州	482	17%		696	19%		831	20%		135	
高機能ガラス事業	217	7%	57	202	5%	57	199	5%	40	△ 3	△ 17
欧州	39	1%		46	1%		50	1%		4	
アジア	172	6%		148	4%		140	3%		△ 8	
米州	6	0%		8	0%		9	0%		0	
その他	18	1%	△ 56	15	0%	△ 51	22	1%	△ 61	7	△ 10
合計	2,907	100%	127	3,757	100%	144	4,202	100%	260	445	116

建築用ガラス事業 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

欧州で販売数量減少だが、その他の地域での強い需要により増収。
エネルギー価格が下落、販売価格の改善もあり原材料およびその他コスト上昇を吸収し、増益



欧州 (累計：減収・増益 7-9月期：減収・増益)

- 経済活動の減速に伴い販売数量が減少
- 原材料およびその他コスト上昇と販売数量減少の影響はエネルギー価格の下落により軽減

アジア (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

- 日本では需給改善に伴い販売価格および販売数量が改善
- その他の東南アジアでは競合が続き販売価格が低下
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

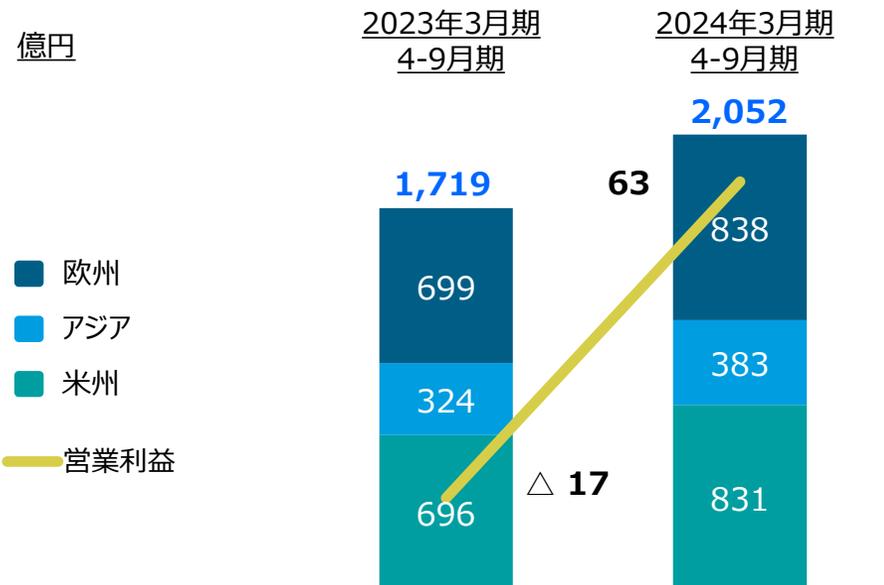
米州 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

- 北米は第2四半期に市場減速を反映して需要が軟化した、販売価格は上昇
- 南米は強い需要が継続、アルゼンチンの新フロート窯稼働もあり販売数量増加
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

(億円)	7-9月期(3か月)			累計(6か月)		
	2023年3月期	2024年3月期	差異	2023年3月期	2024年3月期	差異
売上高	965	972	7	1,821	1,929	108
欧州	406	354	△ 52	788	735	△ 53
アジア	261	280	19	490	548	59
米州	298	338	40	543	646	103
営業利益	66	99	33	155	218	63

自動車用ガラス事業 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

販売数量増加および販売価格改善により全地域で増収増益



欧州 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)
アジア (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)
米州 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

- 部品不足による自動車生産制約の影響が緩和し、多くの地域で販売数量が増加
- 原材料およびその他コスト増加を転嫁するための価格改善交渉がさらに進捗、販売価格が改善
- 引き続きコスト削減、高付加価値製品の拡大、価格改善を推進

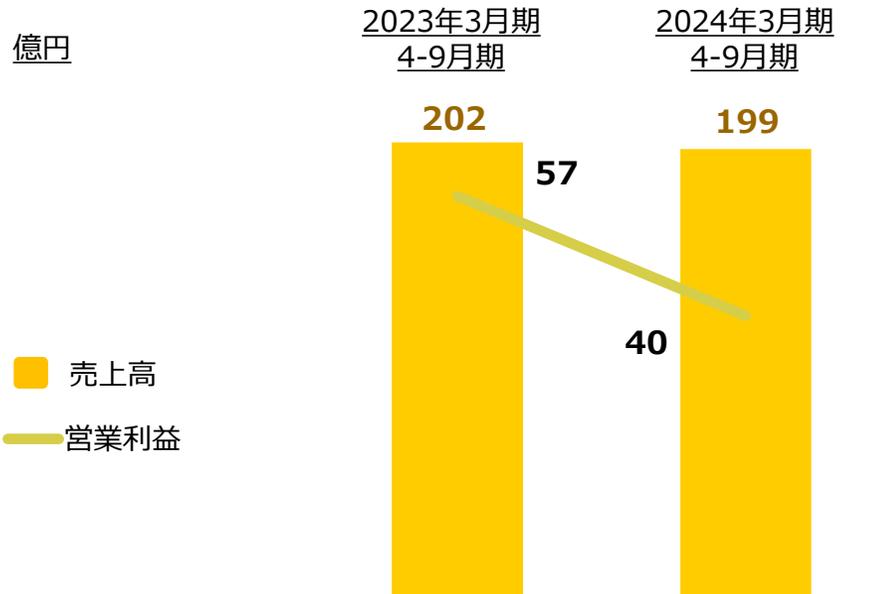
(億円)	7-9月期(3か月)			累計(6か月)		
	2023年3月期	2024年3月期	差異	2023年3月期	2024年3月期	差異
売上高	903	1,043	139	1,719	2,052	333
欧州	362	413	51	699	838	139
アジア	179	204	26	324	383	59
米州	362	426	63	696	831	135
営業利益	△ 10	31	41	△ 17	63	80

高機能ガラス事業

(累計：減収・減益 7-9月期：減収・減益)

IT市場減速の影響を受け減収。

原燃材料およびその他コスト上昇と売上構成の悪化により減益



- ファインガラスでは、IT市場減速の影響を受け販売数量が減少し売上構成も悪化
- プリンター用レンズは、在宅勤務、オンライン授業向けの需要が減少
- グラスコードは自動車生産制約の緩和に伴い回復
- メタシャイン® は自動車塗料および化粧品向けで増加

(億円)	7-9月期(3か月)			累計(6か月)		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
売上高	102	99	△ 3	202	199	△ 3
営業利益	25	19	△ 6	57	40	△ 17

2. 2024年3月期 業績予想について

2024年3月期 業績予想

当初想定を上回る上期業績を踏まえ、通期利益予想を上方修正。
2008年のリーマンショック以降、営業最高益を目指す

(億円)	2024年3月期 上期予想 (前回)	2024年3月期 上期実績	2024年3月期 通期予想 (前回)	2024年3月期 通期予想 (今回)	増減	2023年3月期 通期実績 (参考)
売上高	4,200	4,202	8,400	8,400	-	7,635
営業利益	190	260	350	420	70	348
個別開示項目 (純額)	0	3	0	0	-	△ 452
個別開示項目後営業利益 (△損失)	190	263	350	420	70	△ 103
金融費用 (純額)	△ 130	△ 140	△ 260	△ 290	△ 30	△ 174
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	40	37	40	40	-	-
持分法による投資利益	20	22	60	50	△ 10	73
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	10	11	10	10	-	△ 15
税引前利益 (△損失)	130	193	200	230	30	△ 219
当期利益 (△損失)	90	105	130	140	10	△ 310
純利益 (△損失)*	80	98	110	120	10	△ 338

2024年3月期 業績予想の前提

グループ	<p>上期実績を踏まえ通期の営業利益・税引前利益・当期利益・純利益予想を上方修正 RP24の最終年にあたり、引き続き重点施策「財務基盤の回復」を推進</p> <ul style="list-style-type: none">● 円安が継続する見込み● エネルギー価格は落ち着くものの、世界的なインフレ拡大等で原材料やその他コスト増加は継続● 金利上昇による潜在的な景気後退などのリスクにより事業環境は依然不透明● 金融費用が増加
建築用ガラス	<p>全般的に良好な需給環境継続を期待、一方で欧米を中心に景気後退懸念</p> <ul style="list-style-type: none">● 欧州：景気減速により販売数量減少を見込むが、投入コスト増加を軽減するための価格転嫁も継続。エネルギー価格は安定して推移● アジア：日本の数量および価格が回復するが、その他の東南アジア地域での競合が続く見込み● 北米：販売価格は良好な水準が続くが、マクロ経済が販売数量に影響を与える可能性● 南米：タイトな需給環境が継続、アルゼンチンの新フロート窯の通年稼働が貢献● 太陽電池パネル用ガラス：堅調な需要が続き、マレーシアで生産設備が2023年12月より稼働予定
自動車用ガラス	<p>原燃材料費高騰の影響が続くが、販売数量は増加する見込み</p> <ul style="list-style-type: none">● 全地域で引き続き在庫積み上げが継続し強い自動車需要をけん引する見込み● 自動車生産の制約解消に伴い販売数量が徐々に回復していく見込み● 自動車メーカーと、投入コスト増加を軽減するための価格改善交渉を継続● 引き続きコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善により更なる収益性改善を目指す
高機能ガラス	<p>コスト上昇およびIT市場の減速に伴う需要減少の影響が続き、利益率低下</p> <ul style="list-style-type: none">● ファインガラスは、市場減速の影響が継続する見込みだが、コスト削減を継続● プリンター用レンズは、在宅勤務、オンライン授業に伴う需要減少により販売数量減少が継続● グラスコードは、自動車生産の制約解消に伴い販売数量が徐々に回復していく見込み

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗

持続的な成長が可能な事業体質を目指し主要施策を推進

3つの改革

● 事業構造改革

- ・ アルゼンチン2基目の新フロート窯が収益に貢献
- ・ マレーシアの既存フロート窯で、太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備建設および火入れ完了（2023年12月より生産開始予定）
- ・ 米国でも太陽電池パネル用ガラスの生産能力拡大に向けて検討中



マレーシアの太陽電池
パネル用ガラス製造設備

2つの重点施策

● 財務基盤の回復

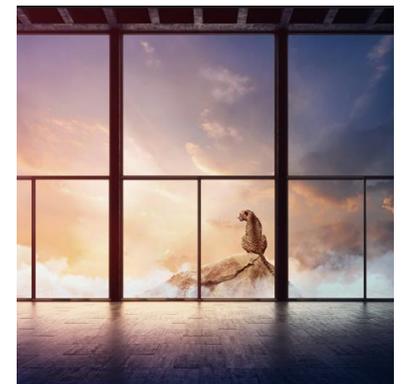
- ・ 営業利益率 : 原材料費高騰の下、コスト削減、高付加価値製品の拡大、販売価格上昇により6.2%
- ・ 純利益 : 好調な業績および第1四半期のジョイント・ベンチャー売却に伴う戻入益の計上もあり、上期累計で98億円
- ・ 自己資本比率 : 純利益計上もあり前期末から2.4pt改善し12.6%と目標数値である10%を上回る
- ・ FCF : 第2四半期はプラス。累計でも運転資本増加を除くとプラス、通期での目標数値である100億円以上達成を目指す

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗

RP24の最終年にあたり、引き続きサステナビリティへの取り組みを推進

サステナビリティへの取り組み

- 十分に持続可能なサプライチェーンを確立・発展させることを目的に、長期的な方針とコミットメントをまとめた「NSGグループ サステナブル・サプライチェーン憲章」を発表
- CO₂排出量を50%削減*した建築用ガラス製品「Pilkington Mirai™」を欧州で販売開始
*従来の当社製品比
- サステナビリティ目標達成に連動した借入契約を締結、グループの温室効果ガス削減目標、およびカーボンニュートラルの達成を目指すことで、事業戦略の遂行とサステナビリティ推進の両立を目指す



Pilkington Mirai™
イメージビジュアル

4. 次期中期経営計画の策定について

次期中期経営計画の策定について

現中期経営計画 (RP24)

～2024年3月期

構造改革が収益成長に結実

次期中期経営計画 (イメージ)

2025年3月期～

4つの「D」(Decarbonization, Digital, Development, Diversity)をキーワードに、さらなる収益力強化、財務基盤改善を目指す

「コスト構造改革」

+

「事業構造改革」

↓

営業利益は2008年の
リーマンショック以降最高へ

2022年3月期 (実績) : 200億円

2023年3月期 (実績) : 348億円

2024年3月期 (予想) : 420億円

● キャッシュ・フロー創出

- ・ 収益成長事業の拡大 (**Decarbonization**、**Digital**)
 - － 建築用 : 太陽光発電パネル用ガラス
リノベーション需要の取り込み
 - － 自動車用 : CASEやEVに対応した高付加価値製品
 - － 高機能 : 脱炭素化、高度情報化対応製品
- ・ 研究開発・事業開発体制の強化 (**Development**)

● ボラティリティ耐性向上

- ・ グループ経営基盤強化と効率化 (**Digital Transformation**)
- ・ サプライチェーン見直しや余剰キャパシティ削減等の継続的な推進

● サステナビリティ

- ・ 2050年カーボンニュートラル (**Decarbonization**)
- ・ 人的資本経営、DEI (**Diversity, Equity & Inclusion**)

● 財務

- ・ PBRやROE改善等株主価値向上や資本コストを意識した経営
- ・ 有利子負債削減、A種種類株式への対応、復配に向けた考え方

5. まとめ

まとめ

1. 2024年3月期 第2四半期決算

- 前年同期比増収増益を継続し、上期業績予想を達成。市場金利の上昇に伴い金融費用が増加
- エネルギー価格は前年同期比で大幅に下落。販売価格改善もあり原材料費およびその他コスト増加の影響を吸収
- 建築用ガラス事業の好調が継続、自動車用ガラス事業でも販売数量が回復、価格転嫁も進捗し収益改善
- グループ全体の営業利益率は6.2%。自己資本比率は12.6%、RP24の財務目標数値である10%超を維持

2. 2024年3月期 業績予想

- 上期実績を踏まえ通期利益予想を上方修正。2008年のリーマンショック以降、最高営業利益を目指す
- エネルギー価格は落ち着くものの、世界的なインフレ拡大等で原材料やその他コスト増加は継続
- 金利上昇による潜在的な景気後退などのリスクにより事業環境は依然不透明、金融費用も増加

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

- 事業構造改革 : 太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備建設および火入れ完了
(2023年12月より生産開始予定)
アルゼンチン2基目の新フロート窯が収益に貢献
- 財務基盤の回復 : 好調な業績に伴い営業利益率はグループ全体で6%超に、自己資本比率も12%超
RP24の最終年にあたり、引き続き重点施策「財務基盤の回復」を推進

4. 次期中期経営計画の策定について

- 4つの「D」をキーワードに、さらなる収益力強化、財務基盤改善を目指す

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境および競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書 四半期別推移
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- セグメント情報
- 地域別売上高および営業利益
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費

連結損益計算書

四半期別推移

(億円)	2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期
売上高	1,477	1,430	1,523	1,576	1,779	1,977	1,906	1,973	2,080	2,122
営業利益 (△損失)	72	55	18	55	83	62	97	107	146	115
営業利益率	4.8%	3.9%	1.2%	3.5%	4.6%	3.1%	5.1%	5.4%	7.0%	5.4%
個別開示項目 (その他)	△ 2	47	△ 2	△ 7	23	△ 473	10	△ 12	△ 8	11
個別開示項目後営業利益 (△損失)	70	102	17	48	106	△ 411	107	94	138	125
金融費用 (純額)	△ 29	△ 29	△ 32	△ 34	△ 28	△ 37	△ 48	△ 61	△ 64	△ 77
持分法適用会社に対する金融債権の減損損失の戻入益 (△損失)	-	-	-	△ 34	-	-	-	-	37	-
持分法による投資利益	15	19	22	19	22	10	21	20	10	12
持分法投資に関するその他の利益 (△損失)	-	-	-	△ 34	△ 12	5	△ 4	△ 4	11	△ 0
税引前利益 (△損失)	55	92	7	△ 36	88	△ 434	77	49	133	61
当期利益 (△損失)	29	67	10	△ 38	33	△ 403	22	38	75	30
純利益 (△損失)*	25	61	0	△ 45	24	△ 412	17	34	70	27
EBITDA	165	146	111	144	180	161	202	207	253	226

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

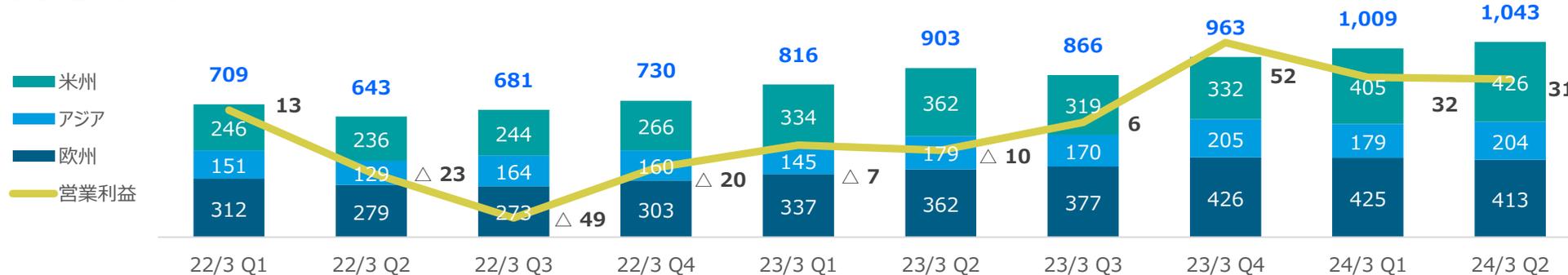
事業部門別・地域別売上高および営業利益 四半期別推移

単位：億円

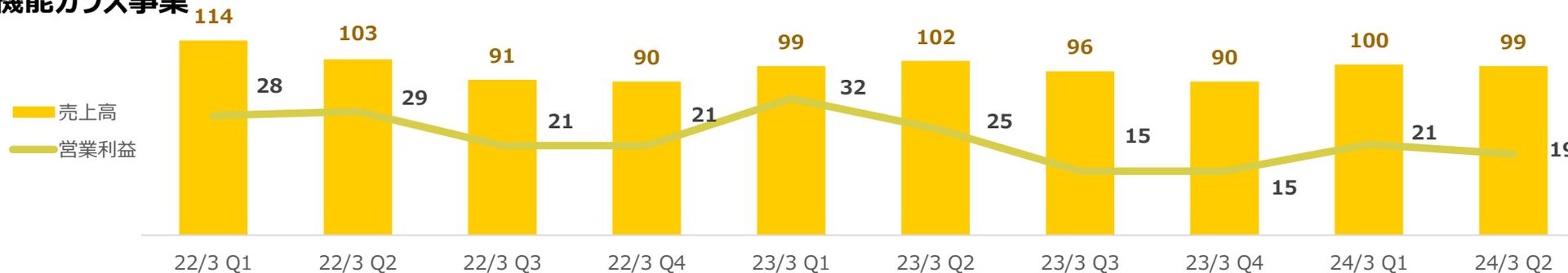
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



セグメント情報

(億円)	2022年3月期					2023年3月期					2024年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	累計
売上高: 建築用ガラス	645	675	748	750	2,818	856	965	936	903	3,659	958	972	1,929
欧州	278	271	293	318	1,160	382	406	391	391	1,571	381	354	735
アジア	193	210	245	215	862	229	261	258	245	992	268	280	548
米州	174	194	210	216	795	245	298	287	267	1,096	308	338	646
営業利益	61	75	68	77	281	89	66	107	74	336	119	99	218
売上高:自動車用ガラス	709	643	681	730	2,762	816	903	866	963	3,547	1,009	1,043	2,052
欧州	312	279	273	303	1,167	337	362	377	426	1,502	425	413	838
アジア	151	129	164	160	604	145	179	170	205	699	179	204	383
米州	246	236	244	266	992	334	362	319	332	1,347	405	426	831
営業利益	13	△ 23	△ 49	△ 20	△ 79	△ 7	△ 10	6	52	41	32	31	63
売上高:高機能ガラス	114	103	91	90	398	99	102	96	90	388	100	99	199
欧州	21	18	20	20	79	21	25	22	27	95	25	26	50
アジア	90	82	68	66	306	75	73	70	58	276	71	69	140
米州	3	3	3	4	13	4	5	4	4	16	4	5	9
営業利益	28	29	21	21	99	32	25	15	15	87	21	19	40
売上高:その他	9	8	3	7	27	8	7	9	18	41	13	8	22
営業利益	△ 31	△ 25	△ 22	△ 24	△ 101	△ 31	△ 19	△ 31	△ 34	△ 115	△ 27	△ 34	△ 61
売上高:合計	1,477	1,430	1,523	1,576	6,006	1,779	1,977	1,906	1,973	7,635	2,080	2,122	4,202
営業利益	72	55	18	55	200	83	62	97	107	348	146	115	260

地域別売上高および営業利益

(億円)	2023年3月期 4-9月期			2024年3月期 4-9月期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	1,533	41%	10	1,623	39%	29	90	18
アジア	961	26%	114	1,071	25%	163	110	49
米州	1,247	33%	71	1,485	35%	129	238	59
その他 *	15	0%	△ 51	22	1%	△ 61	7	△ 10
合計	3,757	100%	144	4,202	100%	260	445	116

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

個別開示項目

(億円)	2023年3月期 4-9月期	2024年3月期 4-9月期
係争案件の解決に係る収益 (△費用) 純額	27	9
有形固定資産等の減損損失の戻入益	-	2
リストラクチャリング費用	△ 1	△ 0
子会社の売却による利益	11	-
棚卸資産の評価減	-	△ 2
非流動資産の減損損失	-	△ 6
のれん及び無形資産の減損損失	△ 488	-
その他	1	△ 0
個別開示項目 純額	△ 449	3

為替レート・為替感応度

期中平均レート

	2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
英ポンド	153	152	153	153	163	163	164	163	172	177
ユーロ	132	131	131	130	138	139	140	141	150	153
米ドル	109	109	112	112	129	134	137	135	138	140
ブラジル・レアル	20.6	20.8	20.7	21.0	26.4	26.4	26.5	26.3	27.7	28.6
アルゼンチン・ペソ	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用									

2024年 3月期
期初見通し
160
134
134
24.8

期末レート

	2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
英ポンド	153	150	156	160	165	161	160	165	183	182
ユーロ	132	129	131	136	142	141	140	145	158	157
米ドル	111	112	116	122	136	145	132	133	145	148
ブラジル・レアル	22.3	20.6	20.4	25.5	26.2	26.7	25.7	26.2	29.8	29.5
アルゼンチン・ペソ	1.16	1.13	1.12	1.10	1.09	0.98	0.76	0.64	0.57	0.42

為替感応度

他の前提に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円高になった場合の影響額

	2023年 3月期
資本	30.0億円の減少
当期損失	4.0億円の改善

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2023年3月期 4-9月期	2024年3月期 4-9月期	2024年3月期 見通し
減価償却費	197	219	440
資本的支出	176	245	477
通常投資	151	176	
戦略投資	25	69	
研究開発費	46	49	100
建築用ガラス事業	14	16	
自動車用ガラス事業	13	15	
高機能ガラス事業	5	4	
その他	14	14	

2023年5月～2023年11月 主なニュースリリース

2023年5月25日	公益財団法人日本板硝子材料工学助成会 第45回研究助成金贈呈式の開催
2023年6月15日	「NSGグループ Diversity, Equity & Inclusion (DEI) ポリシー」を策定
2023年6月22日	新型アルファード/ヴェルファイア エグゼクティブラウンジグレードに当社の防汚コーティング技術を施したバニティーミラーが採用
2023年6月26日	ドイツ アーケン工場内の太陽光発電設備が稼働
2023年6月28日	ロシアにおけるジョイント・ベンチャーの売却および持分法投資に関連する利益の計上に関するお知らせ
2023年6月30日	真空ガラス「スペース®」が環境賞「50回記念特別賞」を受賞
2023年8月25日	SPP（サステナブル調達協定）のチャンピオンズ・リーグに加盟
2023年9月25日	フィンランド拠点で再生可能エネルギーによる電力購入契約（PPA）を締結
2023年9月27日	NSGグループ サステナブル・サプライチェーン憲章の制定
2023年9月28日	JAPAN MOBILITY SHOW 2023に出展 国内初公開となる次世代モビリティに対応した新製品も展示
2023年10月4日	超薄板ガラス「UFF®」と化学強化用ガラス「glanova®」 当社初のSCSリサイクル認証取得
2023年10月10日	「世界最高水準」CO ₂ 排出量を50%カット 建物の脱炭素化に寄与するLowカーボンガラスを欧州で新発売
2023年10月20日	統合報告書2023を発行
2023年11月1日	300μmの極細素子を用いたSELFOC® Lens Array「SLA 5EG」の開発に成功
2023年11月9日	マレーシアの太陽電池パネル用ガラス生産設備が稼働

NSG

GROUP